

【鮫川 七人ヶ瀬 ポイント図】

- (1)【瀬渡し船】釣潮丸 (TEL:090-3734-5568)
(瀬付けが丁寧・安全、瀬替わりなどの要望にも気軽に応じてくれる親切な船長です。)
- (2)【出航・回収時間】(春季の場合です。季節によって変動します。)
① 出航(一番船) 6:00、二番船以降は、船長と要相談
② 回収(一回目) 14:00、回収(二回目) 16:00、回収(最終便) 18:00
経験上、この一帯は「タマズメ」にデカバンが集中しますので、最終便を推奨します・・・
- (3)【料金】乗り合い 1名 ¥4,000-
- (4)【七人ヶ瀬の特徴】とても広い瀬で、瀬の高さもあるため、多少シケても大丈夫です。
上物・底物どちらもOKで、狙える魚種も豊富です。



釣潮丸
専用駐車場

LAWSON
長崎漁港店





筆者が使用しているマルキユの配合セサ。



11月中旬の釣行で、筆者がC点から仕留めたクロ。30~38cmが14匹だった。



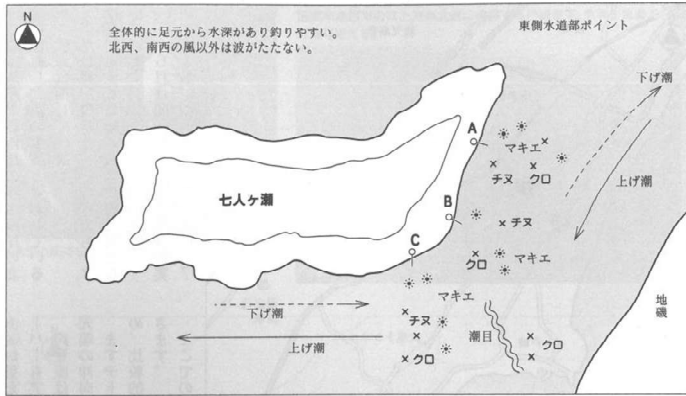
A点。



B点。



C点。



全体的に足元から水深があり釣りやすい。北西、南西の風以外は波がたたない。



七人ヶ瀬全景。足場が良い広大な磯で、どこからでも竿を出せるが、近年は地磯との水邊周辺がベストポイントになっています。

りトマキエを効かせ、辛抱強く打ち返しを続けることです。

・仕掛け&エサ
私の場合、12月〜1月にかけては、OとG2のウキを使っていた軽い半遊動仕掛けで、狙いのタナまでツケエをゆつくり落とすし込んでいます。ただし、近年ではエサ盗りが年中いるので、エサ盗りが見えなくてもマキエでエサ盗りを分離することが必要です。そのため、冬場でもマキエは多めに持参した方が良いでしょう。

ちなみに私の場合、7時間ほどの竿出しでオキアミ4角、マルキユのグレバワイV9SPと同V9、速投ふかせTRを1袋ずつ、パン粉1kgを用意しています。

当然、マキエも数種類持参し、ローテーションさせることで釣果アップにつながります。私が持っていくのは、オキアミの生、他、マルキユの船丸M、くわせオキアミSPのM、サシアミ、自作ムキミなどです。

いずれのツケエを使ってもアタリがなく、きれいに残ってくるようであれば、ハリを、がまかつのサシアミグレ3号に替え、オキアミの生をムキミにしてハリ掛けしています。これだと早

く答えが出るものです。

寒グロのシーズンになると当然、辛抱の釣りを強いられませんが、食わないからといってハリスをサイズダウンさせるのは止めましょう。突然、大型がアタってくるのがこの特徴なので、細くても1・75号までとしたいものです。

・近況
11月中旬、二度釣行しました。1回目には釣友と二人で30〜38cmの釣りを始め、釣友は46cmの地グロもゲットしました。2回目は単独釣行で、30〜37cmは10匹ほど仕留めましたが、大型はアタつてくれませんでした。しかし、これから水温が下がっていくと、大型の期待大です。

・アクセス
長崎市街地から三重方面へ20分ほど走り、京泊フェスタというパチンコ店の先の橋を渡って、すぐ左折すると、200mほど先が渡船・釣丸丸〜丸O 90・3734・5568)の出港地です。釣況とエサは、長崎市の平和釣具店(丸O95・844・2659)まで。

(長崎市青山町在住)

長崎市 敵刈港沖

12月後半〜1月の釣果期待度

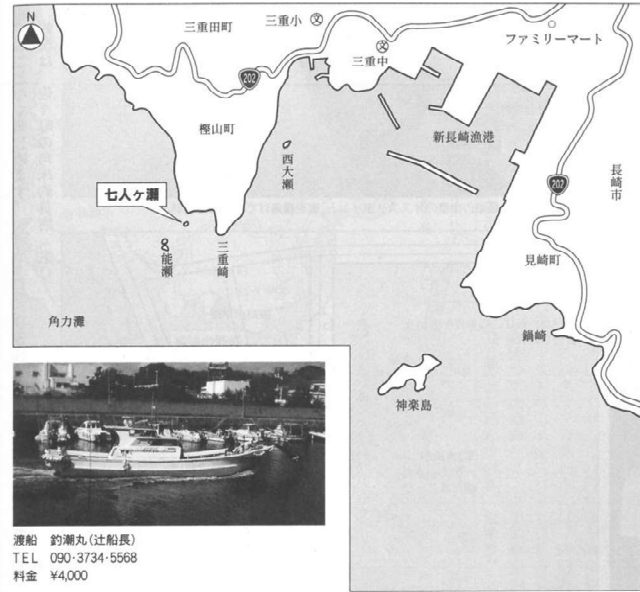
☆☆☆=有望
☆☆=期待大
☆=やや期待

・主な対象魚
クロ(30~40cm) ☆☆☆
クロ(40~45cm) ☆☆☆
チヌ(30~45cm) ☆☆☆

七人ヶ瀬

レポート/丸本 龍郎

人気磯に隠れた良型クロの好釣り場



渡船 釣丸丸(注船長)
TEL 090-3734-5568
料金 ¥4,000

良型クチブトが好調な東側の、地磯との水道にスポットを当てることとし、A、B、C点に分けて紹介していきます。

・ポイント
まず完全な水道向きのA点は、足元から水深が5〜7mありますが、竿一本先でさらに階段状に深くなっているため、そのカケ上がり部分を狙います。ウキ下は2〜4mくらいでOKで、クロの他にチヌもアタってきます。

B点は水道の出口向きの釣り座になり、A点よりもドン深になっています。水道を通す潮と、沖からの潮が合流する時がチャンスで、その潮目で良型のクロがアタってきます。

この他、30mほど前方(地磯の先端)にシズミ瀬があり、この周りでは大型クチブトが仕留められています。

南向きのC点もB点同様、足元から深くなっているため、クロがアタらないと深ダナを狙いますが、このクロは基本的に浮いてくるということを入れておいて下さい。

・狙い方
七人ヶ瀬は底物のポイントもあり、全体的に水深があるため、クロがアタらないと深ダナを狙いますが、このクロは基本的に浮いてくるということを入れておいて下さい。

寒の時期でも浮きがちなので、最初は2.前後のウキ下でスタートします。これですぐ深くはつてくるようであれば、少しづつ深くしていきますが、深くしても竿一本半までです。

潮の流れが速くはないので、じっくり